

特集「生き活きとしたスマートシティを実現する高度交通システムとパーベイシブシステム」の編集にあたって

齋藤 正史^{1,a)}

スマートシティは、安心・安全・快適な都市生活実現のため IT や環境技術などの先端技術を駆使し、交通システム、各種インフラ、エネルギーや医療等様々な分野において、効率的で人と環境に優しいサステナブルな社会システムの実現を目指す取り組みである。スマートシティの実現に向けて、自動運転によるデマンドバスや、トラックの隊列走行を利用した物流・輸送の効率化、電気自動車の充電システムと太陽光発電の連携、それらをサポートする高精度位置推定技術・センシング技術や人工知能による車載システム、ウェアラブルデバイスによる高齢者補助や見守りなど、よりスマートな情報通信方式の研究開発・実用化・商用化、実用をにらんだ通信プロトコルの実証実験など、活発な研究開発が進められている。

モバイル通信および高度交通システムに関するテーマに関しては、情報処理学会の高度交通システムとスマートコミュニティ (ITS) 研究会とモバイルコンピューティングとパーベイシブシステム (MBL) 研究会が中心となり、これまでに毎年 170 件以上の優れた論文が研究会で発表されている。また、1997 年から開催され、毎年 200 件を超える発表のある DICOMO シンポジウムでも、これらの分野に関連する論文が数多く発表されている。ITS と MBL に係る論文を一括掲載することにより、この分野の研究を推進し、その発展に寄与することは情報処理学会として非常に意義深いものである。

本特集号は、このような研究推進を目的として、ITS 研究会と MBL 研究会が共同で企画したものである。特集号では「査読に当たり、悪い部分を指摘するのではなく、論文が採録されるためにどのように改訂すれば良いか著者の立場に立って考えてコメントすることで、より多くの論文が採録されるようにする」という編集方針のもとに編集委員ならびに査読者の方々にご協力をいただいた。具体的には、1) 新規性が十分あるかを判定するのではなく、新規性があるか否かを判定し、少しでもあれば採録する方向で査読する、2) 駄目な部分が存在するから不採録という減点法

ではなく、良い部分に注目し必要な修正を施してもらうことで採録するといった加点法的な考え方に立ってコメントをする、3) 多くの修正が必要な場合においても、できるだけ修正の機会を与える、というものである。

本特集号の編集経緯は、以下のとおりである。

論文募集公開：2018 年 12 月

投稿締め切り：2019 年 4 月 5 日

第 1 回特集委員会：2019 年 4 月 12 日

第 2 回特集委員会：2019 年 6 月 21 日

第 3 回特集委員会：2019 年 9 月 19 日

投稿数 16 件（うち英語論文 4 件）に対して慎重に審議した結果、条件付き採録が 12 件、最終的には 9 件（うち英語論文 4 件）が採録された。採録率は 56% である。採録論文の内訳は、位置推定 4 件、深層学習応用 2 件、セキュリティ 1 件、無線技術 1 件、交通事故防止技術 1 件であり、この分野の注目されている研究テーマをカバーしており、本特集号の趣旨にふさわしい内容となった。

本特集では静岡大学の木谷友哉氏にモータバイク関連の研究開発動向に関するサーベイ論文、ならびに NTT ドコモの深澤佑介氏にスマートフォンを用いた心理状態の推定における機械学習に関するサーベイ論文を執筆いただいた。

最後に、限られた時間の中で多数の査読を行い、出版に至ることができたのは、幹事、編集委員、査読者ならびに学会関係の皆様のご多大なる協力によるものであり、編集委員長として厚く御礼申し上げる。合わせて、論文を投稿していただいた方々の皆様にも御礼を申し上げます。

「生き活きとしたスマートシティを実現する高度交通システムとパーベイシブシステム」特集号編集委員会

- 編集委員長
齋藤正史（金沢工業大学）
- 幹事
柴田直樹（奈良先端科学技術大学院大学）
- 編集委員
湯 素華（電気通信大学）、石原 進（静岡大学）、川井明（滋賀大学）、山口修平（KDDI 研究所）、赤塚 健

¹ 金沢工業大学
Kanazawa Institute of Technology, Ishikawa 921-8501, Japan

^{a)} msaito@neptune.kanazawa-it.ac.jp

(日産), 石田繁巳 (九州大学), 花房比佐友 (アイトランスポートラボ), 川股幸博 (日立), 牧戸知史 (豊田中研), 梶 克彦 (愛知工業大学), 玉井森彦 (国際電気通信基礎技術研究所), 高橋ひとみ (日本 IBM), 後藤佑介 (岡山大学), 廣井 慧 (名古屋大学), 大村 廉 (豊橋技術科学大学), 鈴木秀和 (名城大学), 村尾和哉 (立命館大学), 野呂正明 (富士通研究所), 内山 彰 (大阪大学), 佐藤彰洋 (九州工業大学), 今井智大 (富士通研究所), 吉廣卓哉 (和歌山大学), 梅津高朗 (滋賀大学), 徳永雄一 (金沢工業大学)